

熊本市の公共交通とまちづくり

熊
本



熊本市都市建設局 能勢 和彦

2021年8月20日



歴史・文化

- 国指定史跡熊本城や水前寺成趣園などの文化財



豊かな自然

- 農業算出額 473.6億円 ※農林水産省推計
(政令指定都市20市中 **3位**)



高度な医療環境

- 人口1,000人当たり医師数 3.8人
(政令指定都市20市中 **3位**)



充実した教育機関

- 人口1万人当たり大学生数 361人
(政令指定都市20市中 **7位**)



高い町内会加入率

- 平成26年度：85.8%
(政令指定都市20市中 **3位**)

外国人観光客と観光消費額の伸び悩み


- 外国人宿泊者数 108,033人
(政令指定都市20市中 **11位**、九州県庁所在地都市中 **5位**)

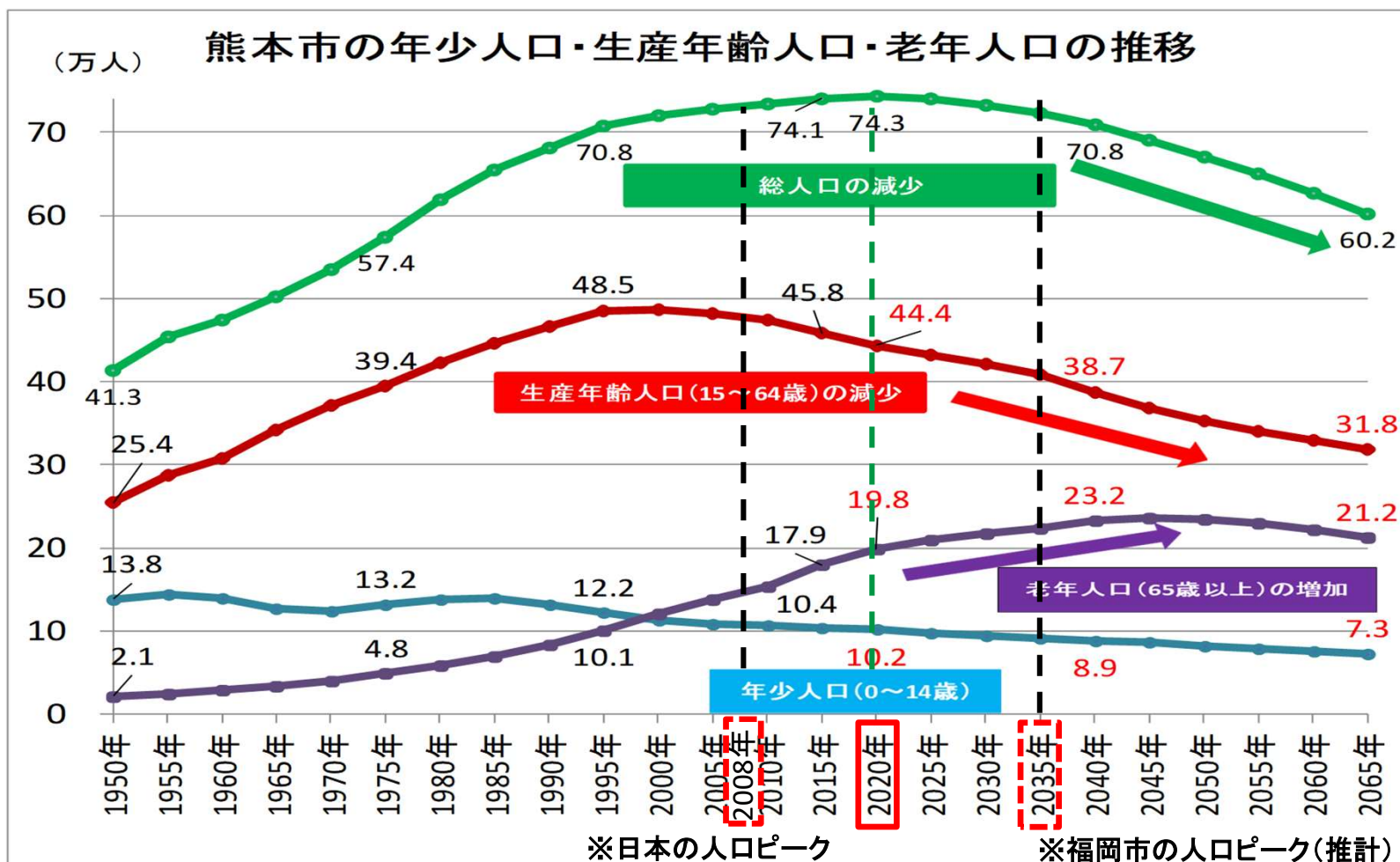
ビジネス面での国際競争力の弱さ

- 海外進出企業数 20社
(九州県庁所在地都市中 **5位**)

都市の知名度の低さ

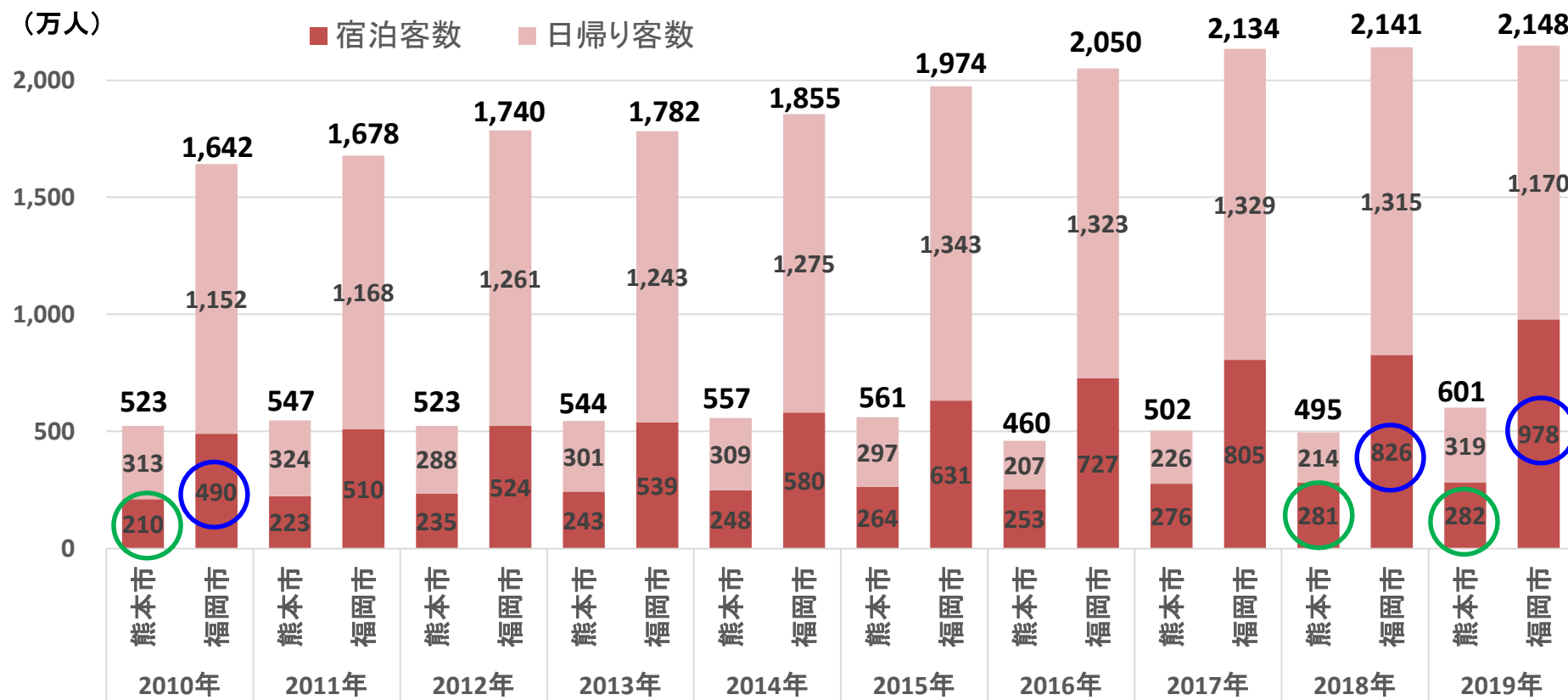
- 都市ランキング・知名度 (2017年) **該当なし**

 世界に認められる「上質な生活都市」となる



出典) 1950年から2015年までは、総務省統計局「国勢調査結果」より作成。2020年以降は社人研推計準拠より作成。福岡市将来人口推計(平成24年)

- 日本は、2008年をピークに総人口は減少局面に入り、熊本市は、2020年が人口ピーク。
- 経済活動を支える15歳～64歳人口が大きく減少し、65歳以上人口が大幅に増加
⇒ 人口減少、少子高齢化 (+「新しい生活様式」) の中での公共交通とまちづくり



(出典) 「熊本市観光統計」「福岡市観光統計」より作成。

■ 熊本城の復元や九州新幹線全線開業を契機に観光客が増加。平成28年熊本地震の発生（4月）により一時的に減少したが、令和元年度は、新たな商業施設（SAKURAMACHI Kumamoto）の開業や世界的スポーツ大会（ラグビーワールドカップ、世界女子ハンドボール選手権大会）の開催により、初めて600万人を超えた一方、宿泊客数の伸びは小さい。

⇒ 魅力の発信に加え、観光客の回遊を促し、滞在時間の延長（宿泊数の増加）を図ることが重要。



人口減少、少子高齢化を見据えた中で、中心市街地と15の地域拠点が利便性の高い公共交通でつながれた**多核連携型の都市**

都市の全体構成図

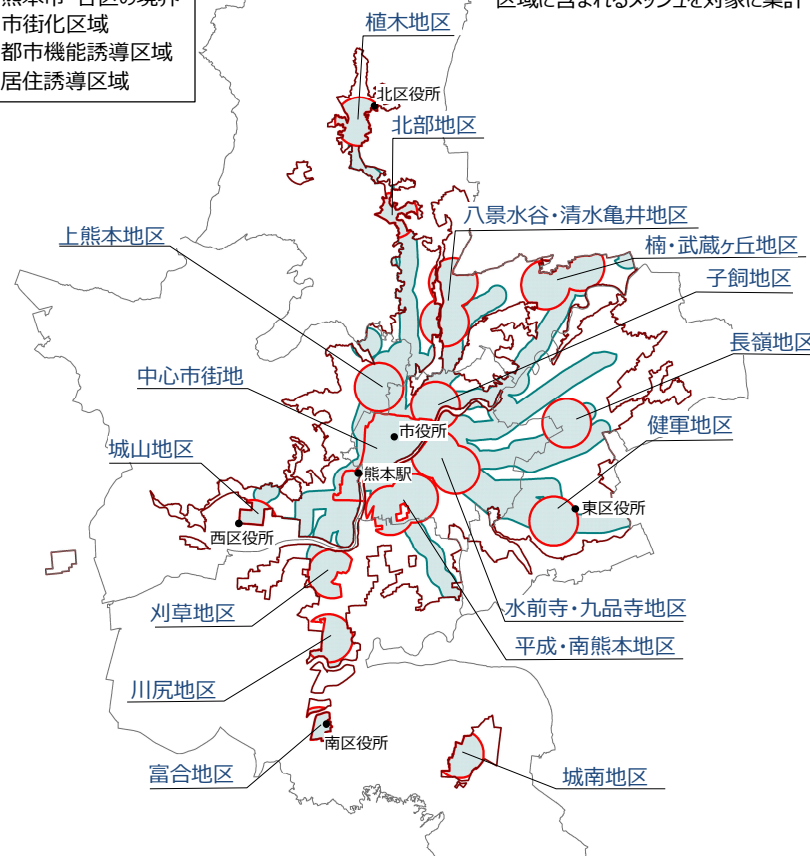


①～⑮:地域拠点

	面積(ha)	人口(人)	人口密度(人/ha)
A 市域	39,032	737,073	18.9
【参考】県域	740,935	1,786,170	2.4
B 市街化区域	10,795	648,896	60.1
C 都市機能誘導区域	3,146	198,017	62.9
D 居住誘導区域	5,904	368,113	62.3
C/B	29.1%	30.5%	
D/B	54.7%	56.7%	

- 熊本市・各区の境界
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

※H27国勢調査データベース
 ※A～Dの人口は、H27国勢調査500m人口メッシュを基に、メッシュ重心が各区域に含まれるメッシュを対象に集計



中心市街地と15地域拠点(都市機能誘導区域)



まちづくり × 公共交通

～熊本地震からの復興プロジェクト～



【駅前広場の歩行者交通量の推移(平日)】



駅ビル
(R3年4月開業)

2021年4月 // ターミナル供用開始
熊本駅 駅ビル開業

災害への備え
(水・食料・トイレ等)
1,900人×3日間
・マンホールトイレ
・手押しポンプ(井戸)
※周辺施設等と連携

熊本駅

白川ビル
(R3年3月開業)

広場
(18000m²)

スマートバス停の整備

電停

交通ターミナル(バス、タクシー)
(R3年4月供用開始)

【熊本駅の乗客数の推移】



■ まちなか再生プロジェクト関連の取組み

老朽建築物等の建替え促進

- まちなかの魅力ある都市空間の創造を目指し、「**まちなか再生プロジェクト※**」**を実施中**。老朽建築物の建替えといった建築物の適切な更新等を促進し、積極的な民間投資を促している。

※容積率割増し、高さ基準の特例承認、財政支援



高さ基準の特例承認による建物セットバック

■ 歴史まちづくり関連の取組み

歴史的建造物等の利活用促進

- 歴史的建造物等の利活用を実験的に提案・実践するため、新町・古町地区（唐人町通り）で地元のまちづくり団体と連携した実証実験「**五感散歩**」を、R3.3月～4月に実施。
- 併せて当該地区の魅力を発信する**プロモーション動画サイト「くまもと歴まち360°」**を、R3.6.30に公開。



歴史的建造物の実証実験「マドカイ」

■ 公共サイン関連の取組み

景観と調和した公共サインの整備推進

- 分かりやすく周辺景観と調和した公共サインの整備を誘導するため、**公共サインガイドラインをR2年度に策定**。今後、本ガイドラインに基づいた公共サインの整備を推進。



熊本市周辺等
ガイドラインに基づく公共サイン整備

■ 夜間景観関連の取組み

魅力ある夜間景観の形成促進（ライトスケープ・キャラバン）

- 夜間景観の理念や方針を示す**熊本市光のマスタープランをR2年度に策定**。本マスタープランの推進に向けて、行政が各地に照明機材を持ち込み、地域とともに魅力ある照明演出の実験（ライトスケープ・キャラバン）を市内各所で実施。



白川夜市@白川緑の区間

昼も夜も歩いて楽しめる魅力的で、災害にも備えた都市空間の創出



※「新しいまちづくりのモデル都市」：国土交通省・内閣府が全国13のモデル都市を選定 (令和3年3月) 1 2

熊本市の主要渋滞箇所の交通状況

**熊本市の
主要渋滞箇所数
政令市ワースト1位
(約180か所)**

※3大都市圏に該当する政令指定都市
(東京、大阪、名古屋)は除く



**月に1度も公共交通機関を利用しない
市民の割合:約6割**

(令和元年熊本市民アンケート)

■まちなか駐車場における時間貸駐車場の需給バランス

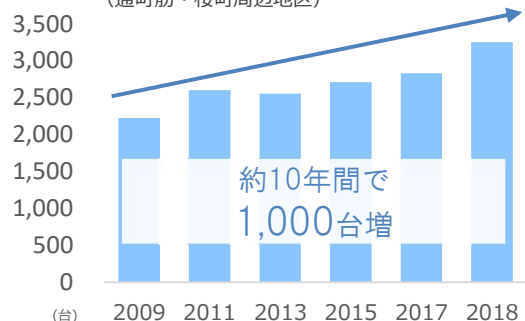
	平均	ピーク時
平日	56.0%	70.3%
休日	65.2%	86.5%

■駐車場の現状と課題

「①土地利用」の視点

平面駐車場は増加傾向

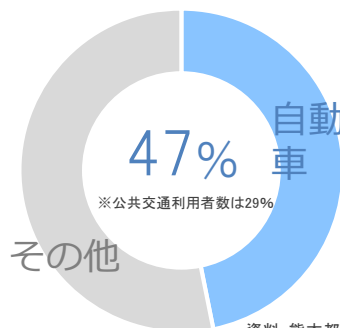
(通町筋・桜町周辺地区)



土地の価値に見合った活用
がされていない
⇒都市のスポンジ化

「②交通円滑化」の視点

約半数の方が自動車で流入

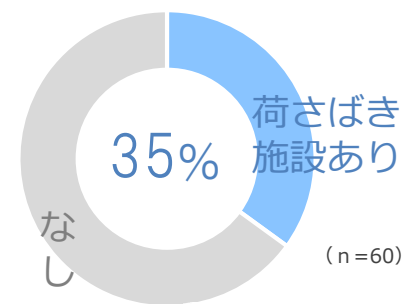


資料：熊本都市圏パーソントリップ調査

過度に自動車に依存した
交通体系
⇒交通渋滞・歩行環境悪化

「③使い方」の視点

荷さばき施設が無く、
路上で出荷等を行っている



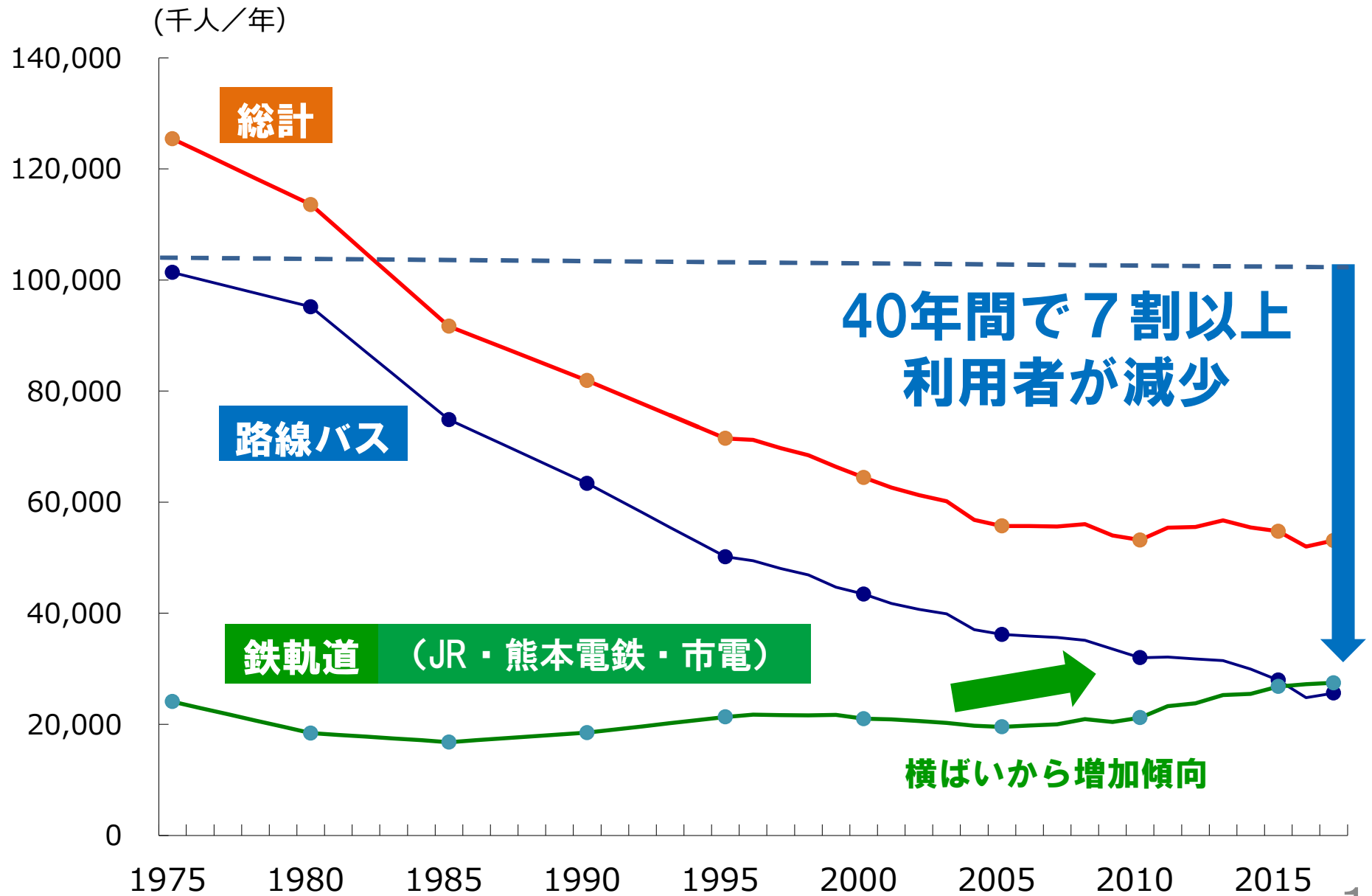
※納品・出荷がある建築物又はテナントに限る (n=60)

円滑な物流等を支える
環境整備が不十分
⇒新たな利活用



駐車場を『**コントロール(総量と配置等を適正化)**』し、まちづくりに活かす

出典：熊本市まちなか駐車場適正化計画(令和2年12月)



鉄軌道

計 **77,000**人/日 (2,606万人/年)

① JR九州



41,600人/日
(新幹線利用者を含む)

【市内：17駅・約40km】

② 熊本電鉄



5,000人/日

【全線：18駅・約13km】

③ 熊本市電(路面電車)



30,400人/日

【全線：35電停・約12km】

熊本空港 : 計 9,500人/日 (346万人/年)
航路(熊本港) : 計 2,150人/日 (78万人/年)

路線バス

バス停数: 約9,400

路線長: 約3,500km

計 **69,400**人/日 (2,526万人/年)



九州産交バス
(産交バスを含む)
29,900人/日



熊本バス
7,800人/日



電鉄バス
11,100人/日



都市バス
20,600人/日



※利用者数はR1年度実績

■バスの共同経営(R3. 4. 1~)

全国初

バス会社5社が、「共同経営」へ

■待合環境の整備



バス待ち処

バス停に隣接したスーパーやコンビニなどにご協力いただき、イートインスペースなどを活用した待合所やトイレの提供、時刻表の掲示や配布を行う(58箇所)

バスロケーションシステム

バスの位置情報や到着遅れ時間をスマートフォンで確認することができるシステムを導入



▼モニター画面



運行会社 Company	案内番号 Guide Number	行先 Destination	経由 Via	定刻 運行状況
産交	空1	熊本空港 Kumamoto Airport	熊本駅前・熊本交通センター Kumamoto, Kumamoto Kotsu Center	14:44 運行前 Before Start
産交	空1	熊本空港 Kumamoto Airport	熊本駅前・熊本交通センター Kumamoto, Kumamoto Kotsu Center	14:59 運行前 Before Start
産交	空1	熊本空港 Kumamoto Airport	熊本駅前・熊本交通センター Kumamoto, Kumamoto Kotsu Center	15:14 運行前 Before Start
産交	空1	熊本空港 Kumamoto Airport	熊本駅前・熊本交通センター Kumamoto, Kumamoto Kotsu Center	15:29 運行前 Before Start
産交	空1	熊本空港 Kumamoto Airport	熊本駅前・熊本交通センター Kumamoto, Kumamoto Kotsu Center	15:49 運行前 Before Start

お知らせ：本表示機は試験運用中です。情報が正確でない場合がございますが、ご了承くださいませ。

150円
均一

ノンストップ
運行

15分
間隔

新たな賑わいを公共交通でまちなかへ

R3.4.3 運行開始 (土日祝)

1周 約31分



熊本駅と熊本城周辺の観光施設を巡る観光型バス

1周 約65分



しろめぐりん



熊本城

熊本市役所

熊本城周辺の観光施設等



「櫓の馬場 城彩苑内」
熊本城ミュージアム わくわく座



監物台樹木園



熊本県立美術館本館



熊本県伝統工芸館



熊本市現代美術館



熊本博物館

バスの料金

	区間運賃 Single use	熊本城周遊バス 1日乗車券 1Day Pass
大人 Adult	¥160	¥400
小人 Child	¥80	¥200

※「区間利用」は、どこから乗ってもどこまで降りても同じ金額です。
 ※「1日乗車券」は、発売当日に限り乗り降り自由です。
 ※次の乗車券でも乗車可能です。
 くまモンのICカード（全国版ICカード）、さくらカード（おでかけIC）、わくわく1day/CS、5UNQ/CS

【料金】
160円均一
【運行】
平日:30分間隔
土日祝:20分間隔



しろめぐりん (EV)

熊本城天守閣特別公開
(2021.6.28～)



4th Asia-Pacific Water Summit
Kumamoto Japan 2022

第4回アジア・太平洋水サミット
(2022.4.23～4.24)



「第3回アジア・太平洋水サミット首脳級集合写真（写真提供：Myanmar News Agency）」



くまもと | 第38回
全国都市緑化くまもとフェア
花とみどりの博覧会
— THE GREEN VISION 未来への伝言 —

2022.3.19[sat]—5.22[sun]

提唱：国土交通省 主催者：熊本市、公益財団法人都市緑化機構



イメージキャラクター
くまモン

森と水の都くまもとで 花と生きる幸せをつむごう

緑豊かな街づくりを目指す花と緑の祭典・全国都市緑化フェアが36年ぶりに熊本で開催！「くまもと花とみどりの博覧会」と題し、メイン会場となる「街なかエリア」「水辺エリア」「まち山（立田山）エリア」は、色鮮やかな花や新緑に彩られます。また、ガイドツアーや体験イベントなども行われるので、熊本が誇る自然を体感してみませんか。

